

〈令和6年度〉ミライカナエル活動サポート事業 ステップアップ支援コース

団体名	特定非営利活動法人 湘南多文化ガーデン
事業名	多文化の親子への就学・編入サポート
事業費	503,590 円（うち藤沢市補助金額 500,000 円）

事業の目的

多文化の子どもが小・中学校で安心して学校生活をスタートし、過ごしていけるよう、子ども・保護者を支援する。また、継続的な支援につなげるため、支援者や教育関係者が課題を認識、共有し、連携できるようにする。

事業の内容と成果・効果

〈事業の内容・成果・効果〉

①多文化の親子支援研修会・連絡会

藤沢市内の多文化の親子の支援に関わる関係者向けに、外部専門家を呼び、研修会・連絡会を開催。【1回目】「社会福祉法人せんねん村 多文化ルーム KIBOU」川上貴美恵先生を講師としてお招きし、西尾市での実践に触れながら、プレスクールの意義と効果について講演いただいた。また、当団体から、藤沢市のプレスクールの実践の報告も行った。参加者計 27 名【2回目】「地球っ子クラブ 2000」代表、高柳なな枝先生をお招きし、低学年の子どもへの指導の実践紹介の後、グループで就学前・低学年の子どもへの実際の指導を考えるワークショップを行った。参加者計 31 名



②多文化の親子の継続サポート

プレスクール・プレクラスに参加した親子等を対象に、参加後のフォローアップを実施。参加者は、子ども 11 名（小学生 6 名、中学生 5 名）、保護者 7 名。アンケートでは、子ども・保護者共に全員「また参加したい」と回答し、子ども・大人共に全員「内容がとてもよかった／よかった、また参加したい」と回答した。学校に通い始めた子どもの様子がわかるとともに、保護者の声を拾う機会を設けることができ、参加者同士がつながるしかけづくりができた。



③就学・編入前サポートプログラム・④「編入前サポートプレクラス」の改善・実施

【1回目】4月から藤沢市内の小学校に入学予定の多文化の子どもとその家族5名が参加。両親には藤沢市の外国につながる児童支援の仕組みや日本の学校についての情報を伝え、入学予定の子どもには小学校での学習体験や日本語指導等を行った。【2回目】藤沢市の小学校に入学予定の子ども 3 名と保護者ら、計 8 名が参加。1 日目から継続の参加者と初参加者に分けて、初参加者には 1 日目の内容も加えた説明を行い、継続の参加者には、2 日目の説明を行った。また子どもたちには日本語の学習やゲームを行った。午後は、藤沢市内の小学校に転入する子ども 1 名、新入学の子ども 2 名、すでに学んでいる子ども 1 名の計 4 名と保護者 2 名が参加した。保護者には様々な説明を行うとともに、相談事に応えた。子どもたちは、日本語学習や多文化に関するゲームを行った。



事業を実施しての課題・3年後に叶えたいミライ

〈事業を実施しての課題〉

①研修会・連絡会…保育園や幼稚園への働きかけに関して具体的な検討。参加者個々のつながりを大きな円とするための仕掛けづくり。②多文化の親子の継続サポート…継続したサポートにつなげるための要素検討。継続サポートでの気づきを学校や指導者に共有する道筋の検討。③就学・編入前サポートプログラム・④「編入前サポートプレクラス」の改善・実施…日程・場所の検討。学校での認知向上・広報の協力を得ること。チラシについて、日本語が苦手な保護者でも必要性がわかるデザインの検討など

〈3年後に叶えたいミライ〉「どんな言語文化背景の子どもも大人も、認められ、ともに成長していける」社会。

そのために…

多文化の親子の現状について関係部署が把握し、多文化の親子に寄り添いながら支援をする。関係部署、団体が連携することで、多文化の親子が、子どもの入学・編入前後も含め、日本語や教科支援、母語保持まで、切れ目ない多様な支援を受けられるようにする。